

シンポジウムS4-1

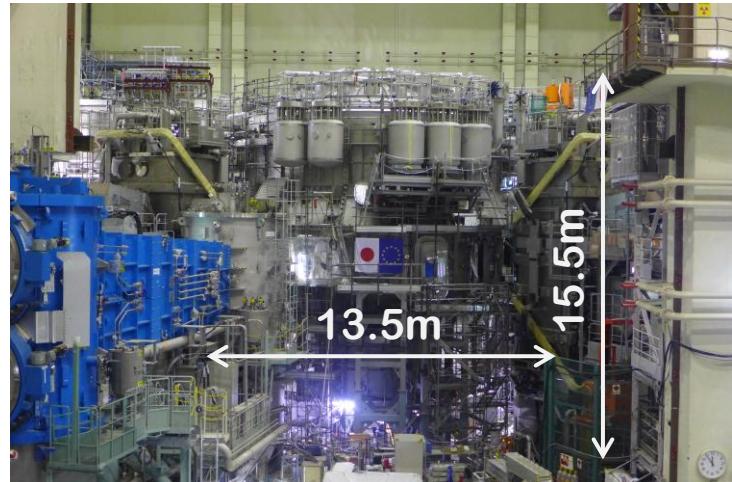
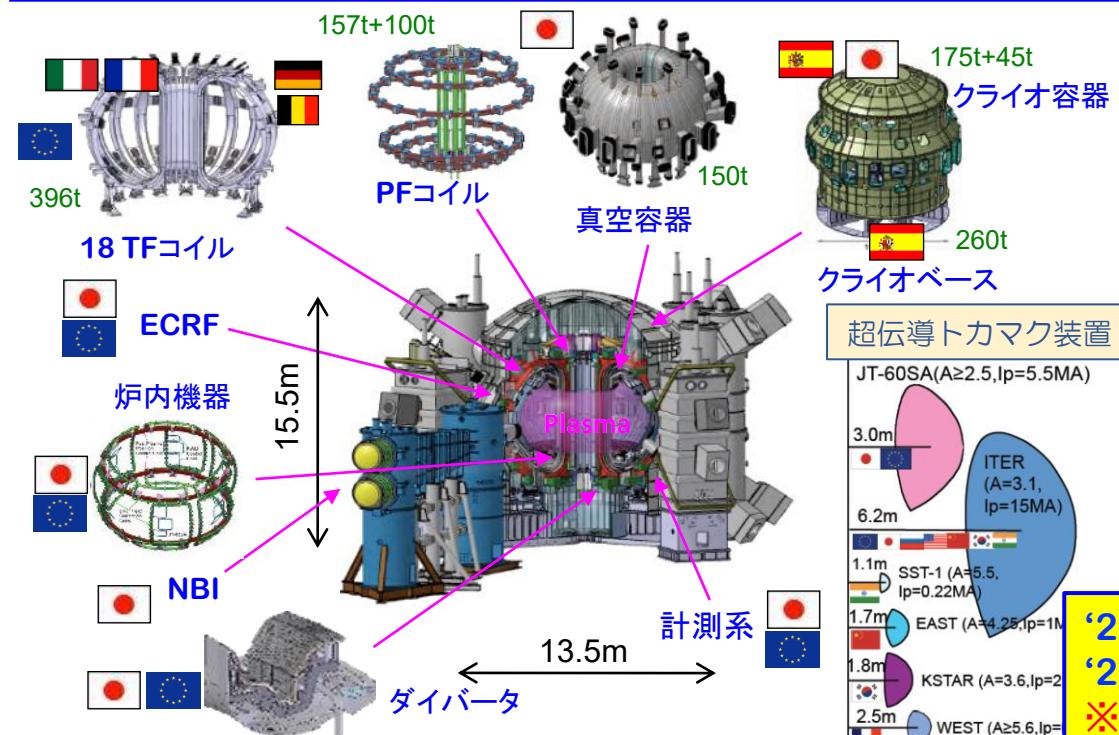
国内コミュニティからのJT-60SA 実験への参加方法と環境整備状況

量子科学技術研究開発機構

トカマクシステム技術開発部長 JT-60SAプロジェクトマネージャー

高 橋 幸 司

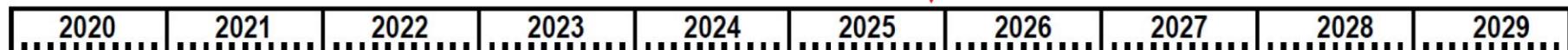
第42回プラズマ核融合学会年会, 2025年12月2日



ITERの運転開始まで世界最大トカマク装置

‘20年3月：JT-60SA組立完了
 ‘23年10月：初プラズマ、世界最大体積プラズマ
 ※現在、プラズマ加熱実験に向け装置改造中

▼ Now



12月2日(火) 10:15-12:15 A会場

S04 国内コミュニティからのJT-60SA実験への参加方法と環境整備状況

- S4-1. 趣旨説明 QST高橋幸司
- S4-2. JT-60SA実験参加と受入制度の紹介 QST浦野創
- S4-3. 那珂研滞在のための環境整備の状況と今後の計画 QST小島有志
- S4-4. オンサイト・ラボの体験談 九大院卒 元木巧将
- S4-5. QSTスチューデントリサーチャーの体験談 京大D1 市川龍
- S4-6. JT-60SA国際核融合スクール (JIFS) の紹介 QST隅田修平
- S4-7. 国内大学からJT-60SA利用についての意見 九大 花田和明
- S4-8. 総合討論／パネルディスカッション

